

妊産婦健診について

(2013年愛知自治体キャラバンまとめ)

市町村名		妊産婦健診は、初回の健診はもちろんのこと、 産前14回、産後1回を無料で受けられる恒久的な制度に
0	愛知県	妊産婦の健診に関する財源は、平成10年度から市町村への地方交付税措置として一般財源化され、各市町村の実情に応じた取組みがなされてきました。 平成21年1月からは地方交付税措置及び国交付金により妊婦健診の公費負担が従来の5回から14回に拡大され、平成21年度からはすべての市町村で14回の妊婦健診を実施しております。さらに、平成25年4月からは、全14回分について地方交付税措置がなされ、制度として恒常的なしくみへと移行したところです。
1	名古屋市	本市では、妊婦の経済的負担の軽減を図るため、委託した医療機関で、一定の項目について公費普天で健康審査が受けられる妊婦健康診査を実施しています。平成21年4月からは、公費負担の回数を5回から14回に拡大し、国が例示しております検査項目につきましても、平成24年4月から全てを公費負担の対象としております。また、産後健診の公費負担につきましては、多額の経費をようすすることもあり、今後、国の動向や本市の財政状況などを見極めながら、その必要性について慎重に検討していきたいと考えております。
2	豊橋市	妊娠届出以後の妊婦健診につきましては14回まで公費負担の対象と考えておりますが、厳しい財政状況の中、この公費負担をできるだけ継続が重要と考えております。妊娠の判定をする初回健診及び産後の健診につきましては、現在のところ公費負担をすることは考えておりません。
3	岡崎市	妊娠の確定については自己負担ですが、妊婦健康診査の初回から14回分の健診は公費負担としております。産後健診の公費助成につきましては、妊婦健診とは別事業となるため実施は考えていません。妊婦健康診査の恒久的な制度として、平成25年度から普及交付税措置となりました。
4	一宮市	妊婦健診については、妊婦届出以降14回の公費負担を行っています。産婦健診については、生活保護や市民税非課税世帯の方への助成を設けております。
5	瀬戸市	平成21年度から妊婦健診の助成回数を14回に拡大しております。今後の助成拡大につきましては、検討を続けてまいります。
6	半田市	妊婦健診については、平成25年度から愛知県妊婦健康診査支援基金事業補助金がなくなりましたが、初回を含め妊婦健診を公費負担で14回、産婦健診についても1回分を公費負担しております。恒久的な制度化につきましては、今後国の動向を踏まえ判断していきたいと考えています。
7	春日井市	平成23年度に、子宮頸がん検査やクラミジア検査、HTLV-1検査等が追加されて、妊娠中に必要な健診項目を充実させながら出産までの健康管理を図っているところです。産後健診の助成については、今後の動向を見守ってまいります。
8	豊川市	妊産婦の健康検査については、産前健診14回分を公費負担としております。産後健診の公費負担は行っておりません。今後については、国の動向や近隣市町の状況を参考にしながら検討をしてまいります。
9	津島市	妊産婦の無料健診については、国の指針に基づき、14回の助成を行っております。国の指針、また、県、各市の状況等の動向を見守りたいと考えております。
10	碧南市	碧南市では、妊婦健康検査14回及び産後健診1回について、厚生労働省が示している検査項目についてを公費で受診できるよう受診票(補助券)を交付しています。これは、愛知県内同じ条件で受診できる体制です。さらに、碧南市では、妊婦歯科健診を受けられるよう1回分の受診票も合わせて交付しています。
11	刈谷市	妊産婦健診の受診券は、母子健康手帳と一緒に交付していますので、初回健診には使用できません。現在、妊娠中に14回(子宮頸がん検診含む)、産後1回の受診券交付しており、県内の医療機関で受診できるよう、県下統一した内容となっています。適正な時期に必要な検査ができるようになってはいますが、無料券ではなく、県で統一した内容の補助券となっています。
12	豊田市	※文書回答なし

市町村名		妊産婦健診は、初回の健診はもちろんのこと、 産前14回、産後1回を無料で受けられる恒久的な制度に
13	安城市	産前14回、産後1回の健診は健診指定項目について無料で受けられるようになって います。現在県医師会に委託し広域化での健診を実施しています。国の示す標準的な 検査項目に基づき実施しています。
14	西尾市	妊産婦健康審査は、愛知県における標準的な健康診査内容により、妊婦健診14回 及び産婦健診1回を公費負担しております。
15	蒲郡市	産前14回については、無料で受診していただいています。ただし、妊娠の有無を確 認する初回健診については、国が示している基本的又は標準的な妊婦健康検査の項 目に含まれていないため、当市の健診内容に含めていく予定はありません。また、産後 1回の健診についても同様のため、現在のところ無料にする予定はありません。
16	犬山市	妊婦健診は、平成21年度から公費負担回数を14回まで拡大実施しています。産婦 健診については、国等の動向を注視しながら検討していきます。
17	常滑市	平成25年度は、県市町村と歩調を合わせ、産前14回、産後1回の助成をしていま す。来年度以降については原則、25年度と同じ内容で助成していきたいと考えていま す。
18	江南市	妊産婦健診は、産前14回、産後1回を公費助成しています。助成は、母子健康手帳 交付日以降の健診分を対象としています。
19	小牧市	妊婦の無料健診制度については、平成21年度1月27日以降、国の示した健診内容 で、14回を実施しております。なお、産後健診については、現在のところ実施する考え はありません。
20	稲沢市	妊婦健診については、愛知県内の市町村が足並みそろえて、14回の健診を実施し ております。産後健診については、現状でお願いしたい。
21	新城市	妊婦健診は、愛知県市長会の調整のもと、初回の健診を含め14回の受診券を交付 し、補助しております。産後の健診は、補助しておりません。
22	東海市	本市では、平成21年度から産前14回について補助を行っております。産後1回の補 助については平成19年度から実施しています。公費負担となる健診項目については、 県下統一を図っております。
23	大府市	本市では、妊婦健康診査14回、産婦健康診査1回及び乳児健康診査2回の計17回 をすでに公費で実施しております。
24	知多市	妊産婦検診として、子宮頸がん健診、HTLV-1・クラミジア検査、産前14回と産後1 回の健診に対して助成を行っております。恒久化については、平成25年度から地方交 付税事業の対象となりました。
25	知立市	国の施策に従って必要とされる妊婦健診事業を行っていきます。
26	尾張旭市	平成24年度で産前の健診の件の助成はなくなりましたが、今年度も継続して実施し ていきます。産後の健診については、厳しい財政状況では実施が難しい状態です。
27	高浜市	妊婦健診は14回助成を行っております。
28	岩倉市	平成21年2月から妊婦健康診査の公費負担回数を14回に増やし現在も14回分の 健診料金を公費で負担しています。
29	豊明市	妊婦健診の公費助成は子育て観点の視点から、産前14回を実施しています。産後 健診については、今後の課題と考えています。
30	日進市	平成21年度から産前14回とし、平成22年度は、子宮がん検診の追加や検査項目 の調整を行い、平成23年度は、HTLV-1、クラミジアを追加し、該当項目について無 料となるよう実施しています。回数の継続的な確保に努力しています。産後健診につい ては、現在のところ実施する予定はありません。
31	田原市	妊産婦健診費用は、産前14回は既に無料で受けられます。産後1回については、近 隣の市の動向にあわせて実施を検討してまいります。
32	愛西市	平成22年度から妊婦健診は14回、厚生労働省が示す標準的な検査項目であれ ば、無料で受けられるよう助成しています。なお、産後1回の健診無料化については、 現状では予定をしていません。
33	清須市	妊婦健診は初回から14回目まで助成しています。乳児の健診も1回助成していま す。産婦健診の助成については考えておりません。

市町村名		妊産婦健診は、初回の健診はもちろんのこと、 産前14回、産後1回を無料で受けられる恒久的な制度に
34	北名古屋市	平成25年度から国庫の補助金がなくなり、市で産前14回の妊婦健診を全額補助しています。財源確保が厳しい現時点では、産後健診への補助は、大変難しい状況です。
35	弥富市	愛知県医師会と契約を結び、他市町村と統一した料金で産前14回分の受診券を発行し利用していただいております。産後健診の受診助成は、考えておりません。
36	みよし市	※文書回答なし
37	あま市	妊婦健康診査が継続して実施できるよう努めていきます。
38	長久手市	平成21年度より「妊婦健診は14回、乳児健診2回実施しています。
39	東郷町	妊産婦検診は、産前14回の健診を、予算の範囲内で実施します。産後健診は考えていません。
40	豊山町	妊婦健診は14回実施しております。産後健診は実施しておりません。今後妊婦健診の国庫補助がない状況では今後の検討課題となります。
41	大口町	現在、妊婦検診の補助については、産前14回は県が定めた内容で実施しており、人によっては自己負担が発生する場合があります。今後は、今のところ産前14回は無料で助成していきませんが、産後の無料化については考えておりません。
42	扶桑町	平成21年度4月から産前7回を14回に拡大し、原則無料で受診できるようにしています。
43	大治町	妊婦(産前)健診は14回分、厚生労働省の素案と日本産婦人科学会、日本産婦人科医会のガイドラインに沿って、補助している。産後健診については、今のところ実施する予定はありません。
44	蟹江町	厚生労働省の通知に基づき現行どおりとします。
45	飛島村	産前14回、産後1回は平成20年度より実施済み。
46	阿久比町	現在、妊婦健診14回、産婦健診1回、乳児健診2回を無料実施しています。
47	東浦町	現在すでに実施しており、今後も子育て支援のために継続実施できるよう努めてまいります。
48	南知多町	平成21年度より、妊婦健康検査を14回、産婦健康検査を1回無料で実施している。
49	美浜町	契約している内容については、無料で受診できるよう助成しています。
50	武豊町	県内の医療機関において、無料で受診できる妊婦健康診査受診票を14枚、産婦健康診査受診票を1枚交付すると共に、県外での里帰り出産をされる妊産婦へ、償還払い制度をしています。今後もできる限り継続実施したいと考えています。
51	幸田町	平成21年度から産前14回の公費負担をしています。産後健診については、近隣市町の状況を見て引き続き検討したいと考えています。
52	設楽町	産前14回を無料で受けられるようにしています。
53	東栄町	産前14回、産後1回を無料化しております。出産準備金として、8万円の助成制度を設けております。
54	豊根村	妊産婦の健診は、産前14回、産後1回を無料で実施しています。